



# 神奈川の風



平成29年1月10日号

校長 吉江 明洋

## < 明けましておめでとうございます >

新年を迎え、例年になく長い冬休みも終わり、今日から三学期が始まりました。冬休み中は、幸いに事故やケガの報告もなく、全員無事に今日を迎えられたことが何より先生方全員の大きな喜びです。今年も健康で意欲的に過ごしましょう。



さて、みなさんの今年の決意や抱負は何でしょうか。3年生は残り2ヶ月で義務教育が修了し、中学校という狭い世界から、一人ひとりが別々に広く大きな新しい世界へと飛び立ちます。また、1・2年生はその将来に向けて、学習や社会生活の基本をしっかりと身につけなければなりません。中学生の今は、自分を見つめ、自分を鍛える時期です。全員が今年の決意をしっかりと持ってスタートしてほしいと願っています。

今年もすべての場面で「全員を仲間と認める」「仲間と協力をする」「仲間を大切にする」。そして、当たり前のことをより高いレベルでできる中学生となるよう先生方と共に頑張りましょう。

## < 小寒・大寒 >



1月5日(木)は、二十四節気の一つ小寒でした。小寒とは、寒さがもっとも厳しくなる前とか、寒さが加わる頃という意味で、この日から「寒の入り」と言われます。

そして、小寒から15日後の20日(金)が寒さの真ん中を示す大寒。各地の最低気温が観測されるのもこの頃が一番多く、一年中で最も寒い時季となります。邪念を払ったり、気を引き締める事がこの日の意味となっていることから、寒稽古や寒中水泳など、耐寒のための様々な行事が古くから行われています。

また、小寒から節分(2月3日)までの期間に汲んだ水のことを「寒の水」といい、雑菌が少なく長期保存に向いているとされていて、寒気を利用した食べ物(酒、味噌、凍り豆腐、寒天など)を仕込む時期でもあります。大寒後15日の2月4日(土)立春で寒が明けます。

そのような寒い時期を迎えて心配なのはインフルエンザ。本校では昨年末に流行の兆しが見られましたが、特に3年生は受験を控えて健康管理に十分に気を配って生活をしましょう。

試験当日は、たとえ熱があっても受験しなければ合格をつかみ取ることはできません。勉強することはもちろんですが、マスクの着用やうがい手洗いの励行と同時に、十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ、免疫力を高めておきましょう。各ご家庭のご協力をよろしくお願いいたします。